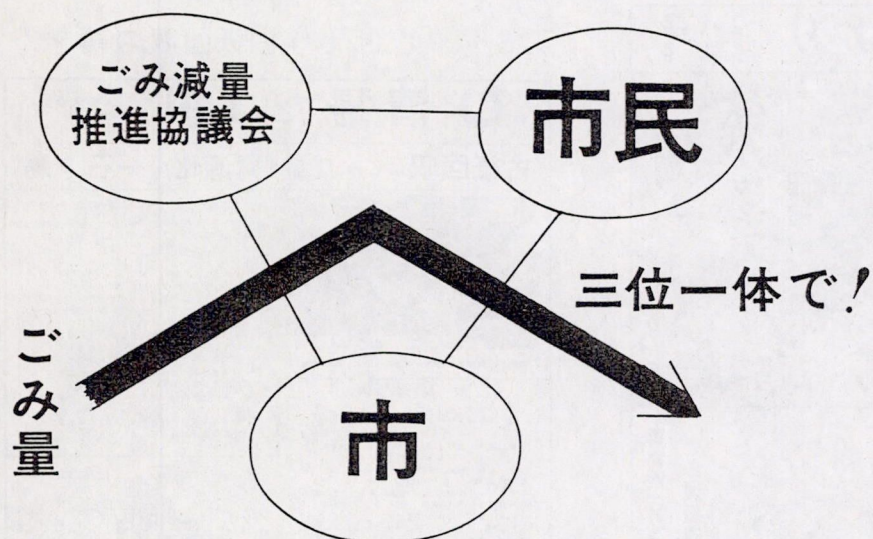






# ごみ減量運動を市民全員の力で!



## ごみ減量推進協議会

福生市では、昭和49年からごみ減量運動に取り組み、多くの実績をあげてきました。また、昭和52年からは、ごみ減量推進協議会を発足させ、運動を進めています。

ごみ減量推進協議会は、各町会長のみなさんと関係団体代表者のみなさんで構成され、ごみ減量運動の各種活動が、討論され実践されています。

## ちょっと考えましょう

ごみ問題ほど、むずかしく、また早急な取り組みを必要とするものはありません。

しかし、私たち一人ひとりのごみ減量運動ほどやさしく、取り組みやすいものはありません。

自分のごみに、最後まで責任を持つことも、ごみ減量運動です。

燃えるごみと燃えないごみを分けて出すというルールを守るのも、ごみ減量運動につながります。

ほんのちょっとしたこと、こんな事だと思われることが、市民全員で行なわれれば、それはすべてのごみ問題を解決できるほどの力になるでしょう。

ものを買うとき、ちょっと考える。包装紙やトレイはいりません。

ごみを出すとき、ちょっと考える。新聞紙や空きビンは再利用できます。

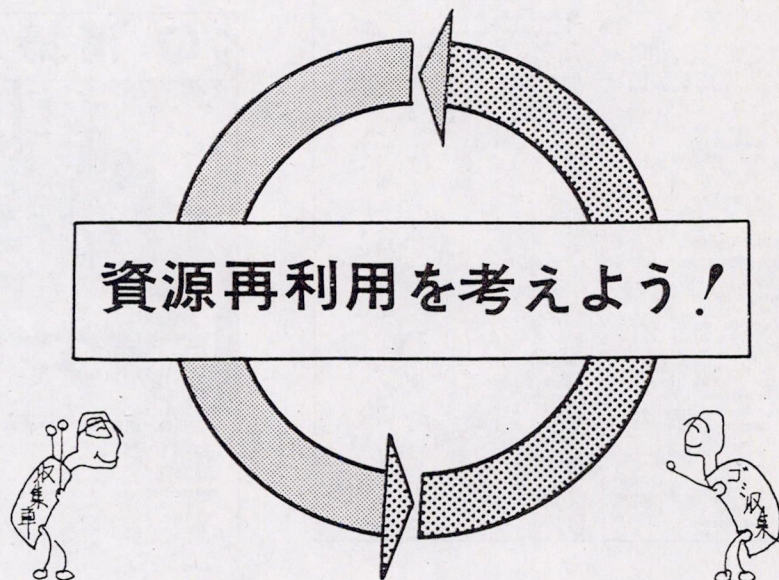
ごみ減量運動は、私たち一人ひとりのほんのちょっとした考え、行動の積み重ねで大きく育ちます。

今日から、ちょっと考えてみましょう。

## ワンポイント

ビニール・プラスチック・はっばうスチロール・トレイなどは、燃えないごみです。

燃えないごみの収集日に出してください。



## 私は考える

東京都生活学校推進委員

本1町会 天田君子

資源問題に取り組んで4年、この運動のむずかしさを痛感している一人である。大量生産・大量消費のなかで、消費が美德とされた時代は、すでに去った。限られた地球の上で43億の人間が、限りある資源を……。私達が浪費してはいけないと思う。

福生市のごみ問題も、私たち一人ひとりが、真剣に考えなくてはならないのではないかな。住民運動として、主体性をもっていくべきだと思う。私は、立場上いろいろな市に行く機会があり、他市の状況を知るにつけ、福生市は恵まれていると思う。ごみ収集も、週1回～3回が限度で、福生市のように毎日の所はない。福生市のごみ処理に使われる税金は、およそ2億1千万円である。私たちの心掛け一つで、減らせるはずである。限りある資源を生かすために、考える時期ではないだろうか。

### 1. 資源ごみ収集の日

(空き缶・空きビン・ガラス・金属・古紙等)

### 2. 埋立てごみ収集の日

(プラスチック・ビニール・陶器等)

### 3. もえるごみ収集の日

(生ごみ・紙等)

と分けて出したら、無駄な労力や、費用の節約になると思うが、無理だろうか。

皆で協力して、住みよい街づくりをしようではありませんか。

ご意見・ご感想を  
お寄せください

☎51-1511

内線284・285

市民部 衛生課 清掃係